

東大地震研－京大防災研拠点間連携共同研究について

(1) 共同研究の公募

- ・令和3年度東大地震研－京大防災研拠点間連携共同研究（以下、拠点間連携共同研究）について、令和3年1月18日から令和3年2月19日の期間において公募を行った。公募は昨年度と同様に重点推進研究と一般課題型研究に分けて行った。応募された申請書をもとに、拠点間連携共同研究委員会において令和3年3月1日から令和3年3月12日にかけて委員全員が採点し、集計結果に基づき拠点間連携共同研究委員会・幹事会が採択の原案を作成し、3月23日(火)に開催された拠点間連携共同研究委員会における審査結果をもとに採択案（1次審査結果）を作成した。

(2) 審査結果

○ 一般課題型研究（新規）

本研究について、新規9件の申請があり、いずれの申請も評価平均点が高かったため、全9課題を採択課題（案）とした。

○ 重点推進研究（新規）

本研究につき、総括型に8件、特定型（その3）に1件、特定型（その4）に1件、特定型（その5）に2件、の計12件の参加申請があり、審議の結果、この全12件を採択課題（案）とした。

- ・上記の1次審査の結果を東京大学地震研究所共同利用委員会と京都大学防災研究所共同利用・共同拠点委員会に報告して2次審査を依頼し、両委員会において令和3年3月23日から令和3年3月30日の間のメール回議にて審議され、採択課題（案）が承認された。

(3) その他

- ・令和2年度の一般課題型研究のうち4課題と重点推進研究のうち4課題については経費の繰り越しの申請があり、令和3年度に継続して課題を実施する。
- ・令和3年2月22日及び24日に開催された京都大学防災研究所研究発表講演会にて、1課題の口頭発表及び2課題のポスター発表による研究成果の発表がされた。
- ・令和3年度の拠点間連携共同研究委員会委員の交代については、地震・火山噴火予知研究協議会から推薦委員を選定の予定である。
- ・採択課題に対する課題ごとの予算配分については、拠点間連携共同研究委員会・幹事会に一任された。